２０１８年（平成３０年）１０月１８日　木曜日

デーリー東北　１１面　掲載

光星 3回打者一巡

花巻東撃破、決勝は盛大付

太山号砲 一挙に5点

第71回 高校野球 秋季東北大会

第4日

第71回秋季東北地区高校野球大会第４日は17日、秋田市こまちスタジアムで準決勝２試合を行った。青森第１代表の八学光星は、花巻東（岩手第２）に７―３で勝利。盛岡大付（岩手第１）は古川（宮城第２）にコールド勝ちを収めた。

青森県勢の決勝進出は、2015年の第68回大会以来３年ぶり。来年３月のセンバツは出場32校のうち、地区別の一般選考数は28校で、東北地区から２校を選出する予定。今回２強で勝ち残った光星、盛岡大付は共に出場が有力だ。

大会最終日となる18日は、同会場で盛岡大付と八学光星が決勝で戦う。（里村静）

準決勝

八学光星 0 0 5 0 0 0 1 1 0 ― 7
花巻東 0 0 0 0 0 0 1 2 0 ― 3

（八）後藤―太山
（花）西舘、中森―武田、山崎
▽本塁打 太山（八）
▽三塁打 酒井（花）▽二塁打 下山（八）

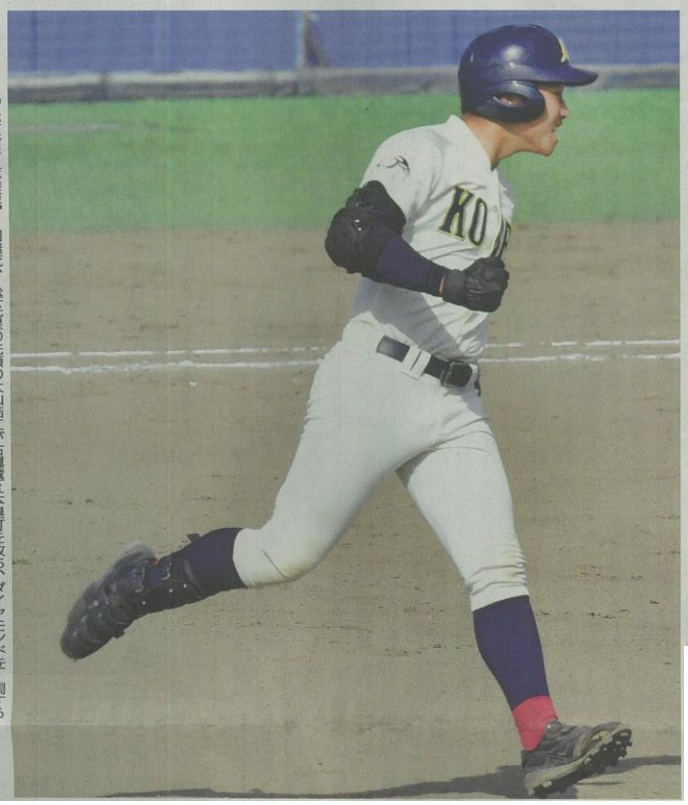
【評】八学光星は三回、先頭の太山が右越え本塁打を放って先制。一発を皮切りとして、打者一巡の集中打でこの回に計5得点を挙げて試合の主導権を握り、後半にも加点して逃げ切った。花巻東は堅守に阻まれて、七、八回に計3点を返すにとどまった。

【八学光星】	打	安	点	振	球
④藤後	3	1	0	1	0
⑧伊藤	4	2	1	0	0
⑥武岡	3	1	0	0	0
⑦近藤	4	2	1	1	0
③太山	3	2	1	0	0
⑨下山	3	2	1	0	0
②大下	3	0	0	1	0
①原	3	0	1	0	0
⑤澤後	3	0	0	1	0
投手	0	0	0	0	0
併殺	1				
残塁	12				
失	2				
盗	1				

【花巻東】	打	安	点	振	球
⑤清水	4	1	0	0	0
⑧中村	4	1	0	2	0
⑨川森	4	1	0	1	0
③会崎	4	1	0	1	0
⑦井澤	3	1	1	1	0
②田村	3	1	0	0	0
⑥舘向	3	1	0	0	0
①久保	3	0	0	1	0
投手	0	0	0	0	0
併殺	0				
残塁	9				
失	1				
盗	2				

投	後	回	打	安	振	球	失
西	中	9	39	6	5	3	2
中	森	6⅓	34	10	5	5	5

重盗も阻止 攻守でけん引



【八学光星―花巻東】3回無死、八学光星の先頭の太山皓仁が右翼越え本塁打を放ち、ダイヤモンドを1周する＝秋田市こまちスタジアム

HERO ヒーロー

長打力には自信がある太山。今夏の甲子園で背番号を獲得しながら、出場機会がないまま終わった。それ以来「長打を打つ力が必要」と、体の軸をぶらさず、一気にスイングする練習を重ねてきたからだ。

この試合では二回に相手の重盗を阻止するなど、捕手としても存在感を発揮。試合終了直前まで「油断するな」とエース後藤丈海を鼓舞し続けた。

県大会は2回戦の試合中に負傷して1週間入院し、決勝を含む3試合出場できなかった。「みんなに迷惑を掛けたから、それ以上に貢献しようと思った」。攻守でチームをリードした"この日の試合を、満足そうに振り返った。（里村静）

「流れを変える一発を打とう」。両チームとも無得点で迎えた三回、八学光星の先頭打者の太山皓仁は、そう決めて打席に立った。2球目、狙っていた真ん中の直球を振り抜き、「手応えがあって、入ったなと思った」。打球は風に乗って右翼席へ。右手を高々と突き上げながらダイヤモンドを1周した。

それまで無安打だった光星打線だったが、この本塁打をきっかけに火を噴く。四死球などで1死満塁の好機をつくると、近藤遼一、大江拓輝、下山昂大が3者連続の適時打。まさに「流れを変える一発」となった。

デーリー東北新聞社提供